

核兵器禁止条約に日本も加盟させよう！

平和行進委が市長・議長・教育長に申し入れ

全国から広島・長崎まで核兵器禁止を願い行進する「原水爆禁止平和行進」への協力を要請する「平和行進利根沼田実行委員会の申し入れ行動」が6月25日、横山沼田市長、星野沼田市議会議長、大竹教育長に対し行われました。これには穂苅清一実行委員長、佐藤卓三平和委員会委員長が参加し、日本共産党の井之川、大東両議員も同席しました。



広島・長崎まで届けるペナントにサインする横山市長と穂苅氏(右奥)、佐藤氏、井之川議員(左)

平和行進の利根沼田網の目行進は7月8日、沼田公園をめざし、朝からみなかみコース、片品コース、午後から川場コースで行われます。メインの沼田～支部からコースは12日、沼田市役所8:30出発で行われます。みなさん一歩でも一緒に歩きましょう



(右下段からのつづき)には、治水面での安全性を保ちながら、自然生態系も壊さず景観に配慮した多自然型護岸工事等の手法を進めてまいりたい。」と答弁しました。
←十王公園南側の滝坂川(改修済箇所)

景観計画・景観条例の制定を

井之川議員は、沼田市文化の継承として、また、観光客誘致にも役立つ、良好な景観の形成と保全を目的とした景観条例の策定を求めました。

市長は、「豊かな自然や歴史的な景観を保全し、新たな景観を創出することは、景観行政を推進する上で、重要であると認識しておりますが、住民参加で行うことが不可欠でありますので、市民要望等を踏まえながら、検討してまいりたい。」と答弁しました。

都市計画道路見直して存続となった事業の実施は？

(前号からのつづき)井之川博幸議員は、都市計画道路の今回の見直しで存続となった国道・県道が関係している国・県の事業計画の実施及び環状線などの市による事業計画の実施の見通しについて市長に質しました。



井之川博幸市議

市長はまず、国・県事業については「沼田バイパス線、国道17号線、沼田日光線、沼田停車場線となっておりますが、現時点では国や県より具体的な実施計画が示されていないため、今後、国・県の動向を注視しながら対応してまいりたい。」と答弁しました。

沼田病院前変則交差点は先行して改良工事

市事業については「環状線、材木町柳町線、沼田中央線を沼田都市計画道路として存続することとし、順次、事業化に向け努力してまいりたい。環状線は、現在、栄町工区の事業完了に向けて進捗を図っており、工事完成後は、材木町から国立病院機構沼田病院までの区間を新たな工区として事業認可を受け、整備してまいりたい。なお、沼田病院前の変則交差点につきましては、市道国立病院下原線交差点改良事業として、本年度において用地買収等を行い、平成31年度の工事完成に向けて事業を進めているところです。」と答弁しました。



独立行政法人沼田病院前の変則交差点

市民や観光客に安らぎを与える城堀川の整備を

井之川議員は、市民や観光客にやすらぎを与える場とするための城堀川の整備を要求しました。

市長は、「現在のところ整備計画はありませんが、今後、整備・改修を行う際（左中段につづく）